

令和6年第7回富山県教育委員会議事日程

6月28日（金）午後1時
県庁4階大会議室

1 会議録の承認について

令和6年5月23日開催の令和6年第6回富山県教育委員会会議録の承認について

2 協議事項

(1) 令和7年度学級編制方針について

- ① 教育みらい室県立高校改革推進課長から説明した。
- ② 陳情書により陳情者から陳述がなされた
陳情（県立高校の募集生徒数・学級編制に関する陳情）

3 報告事項

- (1) 臨時代理について（令和6年6月富山県議会定例会に付議する事案に対する意見に関する件）
教育企画課長から説明した。
- (2) 第1回地域の教育を考えるワークショップの開催結果について
教育みらい室県立高校改革推進課長から説明した。
- (3) 令和7年度富山県公立学校教員採用選考検査志願状況について
教職員課長から説明した。

4 今後の教育委員会等の日程について

5 議決事項

議案第15号 富山県いじめ防止対策推進委員会委員任命の件
教育みらい室小中学校課長から説明し、原案のとおり可決した。

6 報告事項

- (4) 臨時代理について（令和7年度使用義務教育諸学校用教科用図書採択の件）
教育みらい室小中学校課長から説明した。

※地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条7項により、議案第15号および報告事項1件は非公開となりました。

令和7年度学級編制方針（案）

1. 基本的な考え方

（１）これまで同様、次のことを基本として対応する。

- 学級定員は、40人を標準とすること
- 中学校卒業予定者数に対する募集定員の割合は、70.8％程度とすること
- 普通科系割合（総合学科を除く）は、66％程度を目安とすること
- 地域別の中学校卒業予定者数の動向や各学校の入学志願者の推移、これまでの学級増減の経緯などを踏まえること

（２）県全体の中学校卒業予定者数は、今後も減少し続けていくことが見込まれており、令和7年度及びそれ以降の学級編制では、これまでの考え方を基本としつつ、県全体で継続的に募集定員を減らしていく必要がある。

このため、年度によって中学校卒業予定者数が一時的に増える学区があっても、長期的には減少傾向が続くことから、募集定員は増やさないことを検討する。

（３）令和6年度同様に「定員減」での対応についても検討する。

2. 中学校卒業予定者数及び募集定員の目安

区分		全 県	新川学区	富山学区	高岡学区	砺波学区
中 卒 予 定 者 数	令和7年3月 ※1) a (前年比)	8, 509	1, 644	3, 514	2, 407	944
		(▲116)	(+82)	(▲65)	(▲27)	(▲106)
	令和8年3月 ※2) (前年比)	8, 105	1, 472	3, 397	2, 238	998
		(▲404)	(▲172)	(▲117)	(▲169)	(+54)
	令和9年3月 ※2) (前年比)	8, 047	1, 442	3, 328	2, 302	975
		(▲58)	(▲30)	(▲69)	(+64)	(▲23)
R7年度 募集定員の目安 (a × 公私比率70.8%) b		6, 024	1, 164	2, 488	1, 704	668
R6年度 募集定員 c		6, 106	1, 105	2, 536	1, 725	740
募集定員増減の目安 b-c		▲ 82	+59	▲ 48	▲ 21	▲ 72

※1) 令和6年5月1日現在の県内中学3年生の在籍者数である。

※2) 令和8年3月及び令和9年3月の卒業予定者数は、それぞれ令和5年5月1日現在の中学1年生と小学6年生の在籍者数である。

今後の中学校卒業予定者数の推移

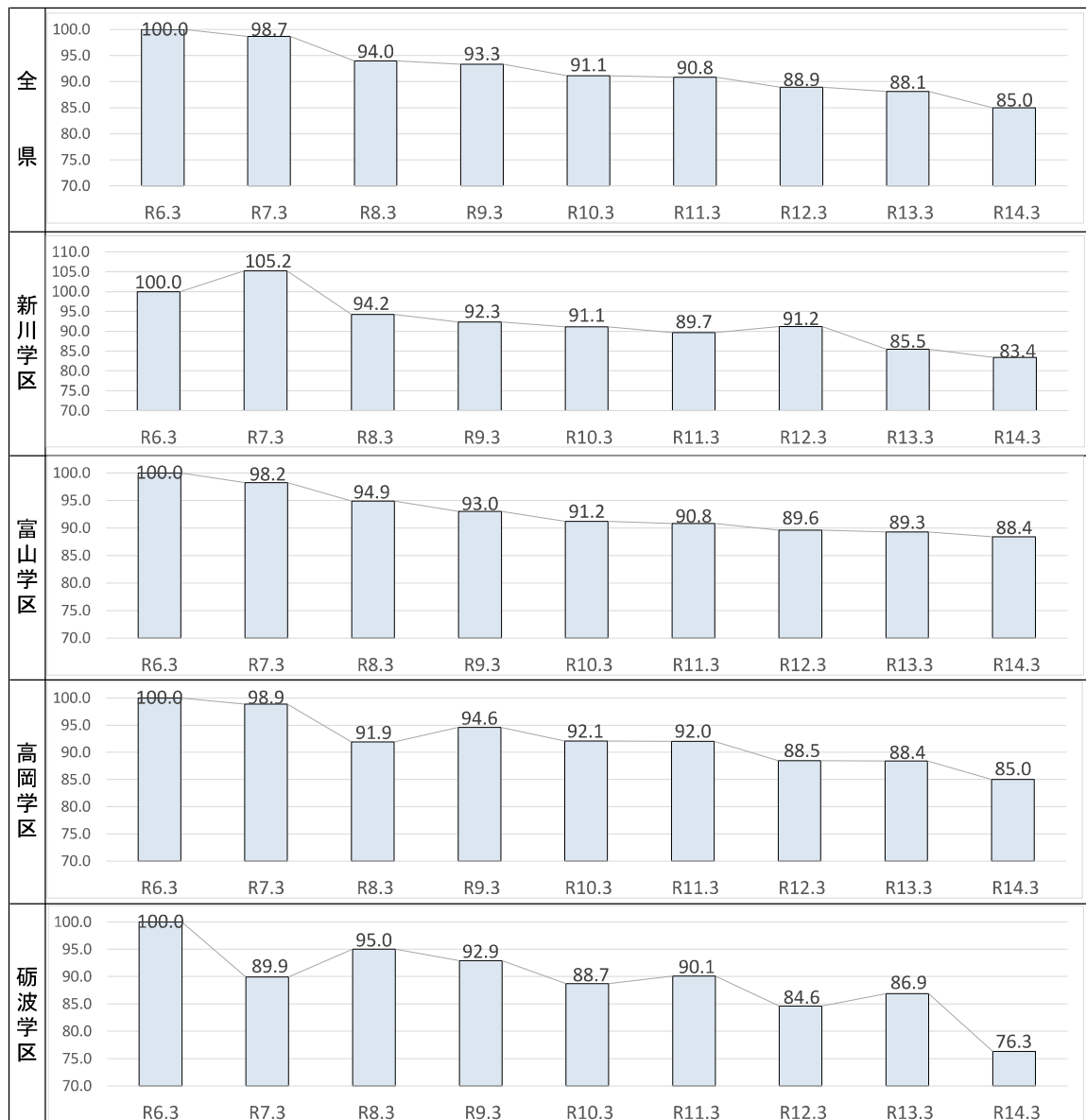
単位：(人)

卒業年月	全 県		新川学区		富山学区		高岡学区		砺波学区	
	中学校卒業 予定者数	R6.3比	中学校卒業 予定者数	R6.3比	中学校卒業 予定者数	R6.3比	中学校卒業 予定者数	R6.3比	中学校卒業 予定者数	R6.3比
R6.3	8,625 (▲127)	100.0	1,562 (▲66)	100.0	3,579 (▲18)	100.0	2,434 (▲21)	100.0	1,050 (▲22)	100.0
R7.3	8,509 (▲116)	98.7	1,644 (+82)	105.2	3,514 (▲65)	98.2	2,407 (▲27)	98.9	944 (▲106)	89.9
R8.3	8,105 (▲404)	94.0	1,472 (▲172)	94.2	3,397 (▲117)	94.9	2,238 (▲169)	91.9	998 (+54)	95.0
R9.3	8,047 (▲58)	93.3	1,442 (▲30)	92.3	3,328 (▲69)	93.0	2,302 (+64)	94.6	975 (▲23)	92.9
R10.3	7,859 (▲188)	91.1	1,423 (▲19)	91.1	3,264 (▲64)	91.2	2,241 (▲61)	92.1	931 (▲44)	88.7
R11.3	7,834 (▲25)	90.8	1,401 (▲22)	89.7	3,248 (▲16)	90.8	2,239 (▲2)	92.0	946 (+15)	90.1
R12.3	7,671 (▲163)	88.9	1,424 (+23)	91.2	3,206 (▲42)	89.6	2,153 (▲86)	88.5	888 (▲58)	84.6
R13.3	7,595 (▲76)	88.1	1,335 (▲89)	85.5	3,197 (▲9)	89.3	2,151 (▲2)	88.4	912 (+24)	86.9
R14.3	7,335 (▲260)	85.0	1,302 (▲33)	83.4	3,164 (▲33)	88.4	2,068 (▲83)	85.0	801 (▲111)	76.3

※ 令和7年3月の中学校卒業予定者数は令和6年5月1日現在のもの。その他は令和5年5月1日現在のもの。

※ 全県及び各学区の右枠には、令和6年3月の中学校卒業予定者数を100とした場合の数値を示す。

令和6年3月の中学校卒業予定者数を100とした場合の数値の推移



臨時代理について（報告）

下記のとおり臨時代理したので、教育長に対する事務委任等に関する規則（昭和34年富山県教育委員会規則第6号）第4条第2項の規定により報告します。

令和6年6月28日 提 出

富山県教育委員会

教 育 長 廣 島 伸 一

記

令和6年6月富山県議会定例会に付議する事案に対する意見に関する件

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第29条の規定により知事から意見聴取のあった令和6年6月富山県議会定例会に付議する事案については、同意するものとする。

以上、教育長に対する事務委任等に関する規則第3条の規定により臨時代理する。

令和6年6月6日

富山県教育委員会

教 育 長 廣 島 伸 一

財 第 2 5 号
令和 6 年 6 月 4 日

富山県教育委員会
教育長 廣島 伸一 殿

富山県知事 新 田 八 朗



富山県議会に付議する事案に対する意見について

令和 6 年 6 月富山県議会定例会に付議する次の事案のうち、教育事務に関する部分について、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 29 条の規定により、貴委員会の意見を求めます。

記

- ・令和 6 年度富山県一般会計補正予算（第 2 号）

令和6年度6月補正予算（案）総括表

1 一般会計

教育委員会

単位：千円

区 分		既定予算額	補正予算額	計	構 成 比	既定予算に対する伸び率 (事業費ベース)
教育総務費	事業費	3,693,242	2,000	3,695,242	5.0%	0.1%
	給与費	998,698	0	998,698		
	計	4,691,940	2,000	4,693,940		
小学校費	事業費	198,962	0	198,962	32.7%	0.0%
	給与費	30,472,775	0	30,472,775		
	計	30,671,737	0	30,671,737		
中学校費	事業費	188,111	0	188,111	19.6%	0.0%
	給与費	18,221,486	0	18,221,486		
	計	18,409,597	0	18,409,597		
高等学校費	事業費	8,111,129	0	8,111,129	29.8%	0.0%
	給与費	19,830,271	0	19,830,271		
	計	27,941,400	0	27,941,400		
特別支援 学校費	事業費	1,442,865	0	1,442,865	10.9%	0.0%
	給与費	8,824,153	0	8,824,153		
	計	10,267,018	0	10,267,018		
社会教育費	事業費	623,697	0	623,697	1.3%	0.0%
	給与費	553,579	0	553,579		
	計	1,177,276	0	1,177,276		
保健体育費	事業費	491,416	0	491,416	0.7%	0.0%
	給与費	150,255	0	150,255		
	計	641,671	0	641,671		
合 計	事業費	14,749,422	2,000	14,751,422	100.0%	0.0%
	給与費	79,051,217	0	79,051,217		
	計	93,800,639	2,000	93,802,639		

令和6年度6月補正予算(案) 一覧表

1 一般会計

(単位:千円)

室課名	事業名	提案 見込額	財源内訳			備 考
			国支出金	その他	一般財源	
教育み らい室	県立学校教育振興計画 推進費	2,000			2,000	県立高校教育振興検討会議からの提 言及び第1回総合教育会議での議論 を踏まえた4学区ごとのワーク ショップの開催
事業費計		2,000			2,000	

第1回地域の教育を考えるワークショップの開催結果について

1 日時・場所

- 【新川学区】 5月27日（月）14時～16時：新川文化ホール
- 【富山学区】 6月 3日（月）14時～16時：富山県民会館
- 【高岡学区】 5月30日（木）14時～16時：高岡文化ホール
- 【砺波学区】 5月29日（水）14時～16時：砺波市文化会館

2 参加者

別紙のとおり

3 テーマ

- グループワーク① 「提言」及び「県立高校の目指す姿」について
- グループワーク② それぞれの学区の目指す姿について

4 主な意見等

【新川学区】

- ・子どもたちに多様な選択肢を提供することは大切で、様々な学科を備えた一定規模の高校が必要。
- ・魅力ある高校づくりが「主」で、その結果としての再編統合は「従」である。その目的と手段を逆にするとおかしいことになる。
- ・新川学区には地域や企業と協働した教育ができる素地がある。
- ・他県では、企業が授業を支援する工業高校がある。企業と連携して授業を行うことで、先生の働き方改革にもなる。
- ・新川学区の一部の地域では、富山学区への流出が問題となっている。新川学区だけで考えていくのは難しい。

【富山学区】

- ・提言に子ども中心の視点に立ち、幅広い選択肢を確保するとあるが、中学校卒業段階で選択できない生徒もいる。入学後に学科の変更ができるなどの仕組みがあるとよい。
- ・「学びの質の向上」という視点において、学習活動、部活動、職業教育などそれぞれに特化した学校があるとよい。
- ・富山学区は普通科が多く配置されているが、保護者からの進学への期待が大きく、学校ごとの特色がない。進学実績ではなく、それぞれの魅力づくりが必要。
- ・他校の授業を受けることができるシステムや、探究活動での様々な職業科間の連携があるとよい。
- ・公共交通機関の整備状況なども踏まえ、富山学区にある程度の選択肢を用意し、他学区には富山学区にない選択肢を用意するのがよいのではないかと。少子化の中、学区間の平等性を確保することは難しい。

【高岡学区】

- ・提言は、現実的で実効性がある。学科と学校規模をかけ算しながら、その価値や、学校を高めていこうという発想だと思う。
- ・中学生の志向・動向を分析し、既存の学校を念頭に置かず、ゼロベースで望ましいあり方を検討すべき。
- ・普通科に進学してくる生徒は夢がはっきりと決まっていない。進路が定まっていない子どもにも対応できる学校であることが必要。
- ・中高の連携が盛んになるとよい。中学生が高校の授業を見ることで、やってみたいと思う機会になる。また、高校の教員が中学校の授業を見ることで現状を把握することができる。
- ・高岡学区には、自然条件を生かした特色ある学科や文化・産業を生かした多種多様な学科があり、伝統がある。これを今後も生かしていくために、地域連携を進めるべき。
- ・高岡学区と砺波学区を合わせた姿が、歴史的にも文化的にも理にかなった姿。十字に鉄路でつながっている地域性がある。通学条件が適うなら、高岡学区と砺波学区を区別する意味はなくなってくる。

【砺波学区】

- ・現在の議論の中に部活動が取り上げられていない。進路選択の理由の中に「部活動」を挙げる子どもが多くいる。看板となる部活動を設置した高校を各地域に配置し、集積してもよいのではないか。
- ・アクセスの良さから、金沢市の私立高校に進学する中学生が増えている。
- ・提言や目指す姿に目新しさは感じない。人間性育成にも適った小規模校はなぜだめなのか。
- ・幅広い学びの選択肢を確保するために中～大規模が必要で再編は避けられない。
- ・砺波学区という括りだけでなく、せめて砺波、高岡学区の範囲で、県外へ流出しない、県外からも生徒を呼べるような高校のあり方を考えることが大事。
- ・生徒たちに多様な小学科を用意し、括り募集で入学後に選択の機会を提供できれば、わくわく感を高めることにつながる。
- ・普通科に何気なく進学している生徒にこそ、入学後にいろいろなコースを選択できるようにすることも必要。
- ・砺波学区では、小中高で連携しており、今後も生徒たちや先生方の交流を通して、砺波学区の高校の魅力を生徒たちに伝えていける。

5 今後の予定

今後も、地域の教育を考えるワークショップと、どなたでも参加できる意見交換会を開催し、そこでいただいたご意見は総合教育会議にフィードバックして検討を進めてまいります。

・第2回ワークショップ

新川学区 7月2日(火) スカイホテル魚津 富山学区 6月28日(金) 富山県民会館
高岡学区 7月9日(火) 高岡エクール 砺波学区 7月10日(水) サンキュー・ミューホール

- ・8月 第1回意見交換会(4学区)
- ・12月下旬～1月上旬 第3回ワークショップ(4学区)
- ・1月中旬以降 第2回意見交換会(4学区)

令和 7 年度富山県公立学校教員採用選考検査 志願状況について

1 概要

- (1) 日程
- ・募集期間 令和6年4月24日(水)～6月7日(金)午後7時00分
 - ・1次検査 7月13日(土) 7月14日(日)
 - ・2次検査 8月17日(土) 8月18日(日)
- (2) 採用予定者数 340名程度(A) 特別選考「障害者」若干名を含む

2 志願者数

- (1) 志願者総数 888人 (大学3年次での志願者を除くと678人(B))
- (2) 志願倍率＝ 2.0倍(B/A)
- (3) 種目別志願者数

種 目		小 学 校		中学校 高等学校		特別支援学校A		特別支援学校B		養 護 教 諭		栄 養 教 諭		総 数			
年 度		R6	R7	R6	R7	R6	R7	R6	R7	R6	R7	R6	R7	R6	R7		
志願者数 [人]	一般選考	292(202)	323(196)	339	361(291)	23	29(21)	12	13(13)	53	45(41)	14	16(15)	733(643)	787(577)		
	特別選考	社会人 経験A	4	4	13	10	1	0	2	1	3	2	1	1	24	18	101
		社会人 経験B	0	0	2	4	0	0	0	0	0	0	0	0	2	4	
		教職経験	13	12	11	10	3	4	0	0	2	2	0	0	29	28	
		特定資格	0	0	8	4	0	0	0	0	0	0	0	0	8	4	
		国際貢献	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	
		スポーツ 実績	－	－	7	8	－	－	－	－	－	－	－	－	7	8	
		障害者	0	1	0	2	1	0	0	1	0	0	0	0	1	4	
		大学推薦	20	20	17	8	5	6	0	0	0	0	0	0	42	34	
	計	330(240)	360(233)	398	408(338)	33	39(31)	14	15(15)	58	49(45)	15	17(16)	848(758)	888(678)		
前年比	人数[人]		30(△7)		10(△60)		6(△2)		1(1)		△9(△13)		2(1)		40(△80)		
	[％]		12.5(△2.9)		2.5(△15.1)		18.2(△6.1)		7.1(7.2)		△15.5(△22.4)		13.3(6.7)		5.3(△10.6)		

()は大学3年次での志願者数を除いた数字

<参考>

志願者数の年度別推移

年 度	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6	R7
志願者数[人]	1,092	1,105	1,049	929	822	836	754	756	758	678
採用予定者数[人]	310	300	300	300	315	330	330	330	300	340
倍率[倍]	3.5	3.7	3.5	3.1	2.6	2.5	2.3	2.3	2.5	2.0

(採用予定者数には特別選考を含む)

(R6、R7の志願者数は大学3年次での志願者数を含まない)